

野尻湖漁業協同組合による池尻川におけるオオクチバス等の逸出状況調査報告

1 調査の経緯

令和 2 年度に内水面漁場管理委員会が実施したオオクチバス等の逸出状況調査において、調査地点 D (図 1) においてコクチバスが捕獲されたことから、内水面漁場管理委員会から野尻湖漁協に対し、調査地点 D から逸出防止装置までの区間の逸出状況調査を実施するよう指示した。

それを受けて、内水面漁場管理委員会事務局立ち合いのもと、野尻湖漁協が調査を実施したため、その結果を報告する。

- 2 調査日時
- | | | |
|---------|---------------------|--------------------|
| 調査 1 回次 | 令和 3 年 4 月 19 日 (月) | 9 時 00 分～11 時 00 分 |
| 調査 2 回次 | 令和 3 年 5 月 17 日 (月) | 9 時 00 分～12 時 00 分 |

3 従事者

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 調査 1 回次 | 野尻湖漁協 | 石田組合長他、組合員 7 名 |
| | 内水面漁場管理委員会事務局 | 1 名 (立合いのみ) |
| 調査 2 回次 | 野尻湖漁協 | 石田組合長他、組合員 4 名 |
| | 内水面漁場管理委員会事務局 | 1 名 (立合いのみ) |

4 調査場所及び調査方法

D 地点から A 地点 (防止装置の最上流の網) までの約 2 km の区間について、下流から上流に向かって電気ショッカーによるオオクチバス等の採捕を実施した (図 2)。ただし、調査 1 回次は、D 地点から上流約 1.4 km 地点で、電気ショッカーのバッテリー切れが起きてしまったため、当該地点で調査を終了した。

5 調査結果 (表)

ア 調査 1 回次

D 地点から上流約 500 m 地点の暗渠の箇所、コクチバスが 1 尾捕獲された (図 3)。体サイズから、1 歳魚であると考えられ、令和 2 年度の内水面漁場管理委員会が実施する逸出状況調査において D 地点で捕獲されたコクチバスと同様の年に生まれた年級群と考えられた。昨年度 D 地点で捕獲されたコクチバスと同様に、令和 2 年 7 月 7 日に野尻湖漁協が A 地点の逸出防止装置をステンレス製の逸出防止装置に取り換えを行った時に、網の目合いの取り付けミスが生じ、同年 8 月 12 日に従来 of 網の目合いへの取り換えが完了するまでの期間に、流出した個体であると考えられた。捕獲したコクチバスはその場で殺処分した。

イ 調査2回次

D地点からA地点までの間で、コクチバス等の外来魚は採捕されなかった。

表 調査において捕獲された魚類等

| 魚種 | 採捕数（尾） | |
|---------|------------|--------|
| | 調査1回次 | 調査2回次 |
| ウグイ | 6 | 8 |
| アブラハヤ | 45 | 68 |
| ヨシノボリ類 | 8 | 11 |
| ドジョウ類 | 42 | 30 |
| コイ※ | 20尾程度 | ~15尾程度 |
| フナ | 3 | 1 |
| モツゴ | 5 | 1 |
| ヤツメウナギ類 | 0 | 5 |
| コクチバス | 1（体長7.8cm） | 0 |
| エビ類 | 多数 | 6 |

※40 cm~50 cm程度の大型魚が多いため採捕自体はせず、目視で確認



【図1 調査地点地図】



【図2 調査地点、調査の様子】



【図3 捕獲されたコクチバスと捕獲場所】